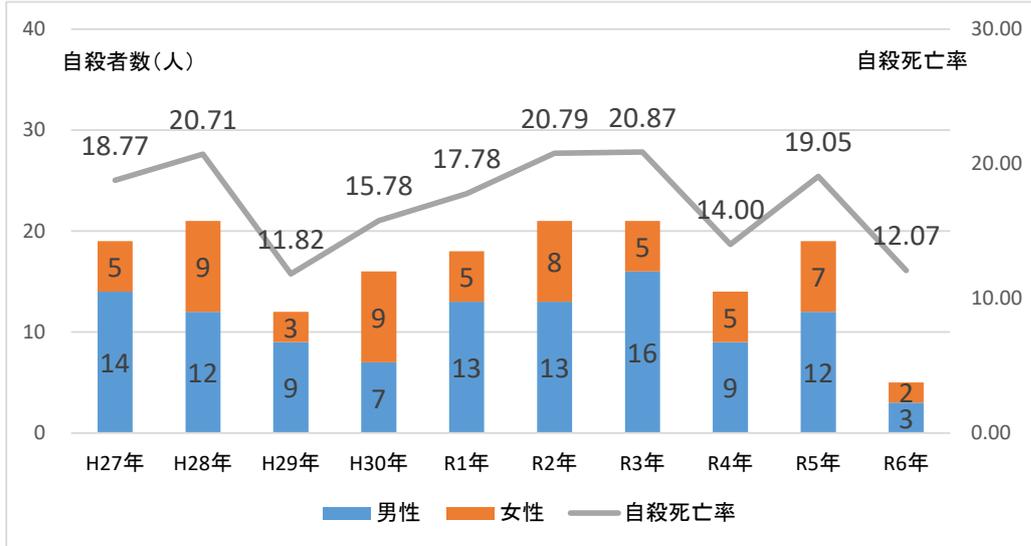


坂戸市の自殺者数等の状況

【資料1】

【図1】坂戸市における自殺者数の推移

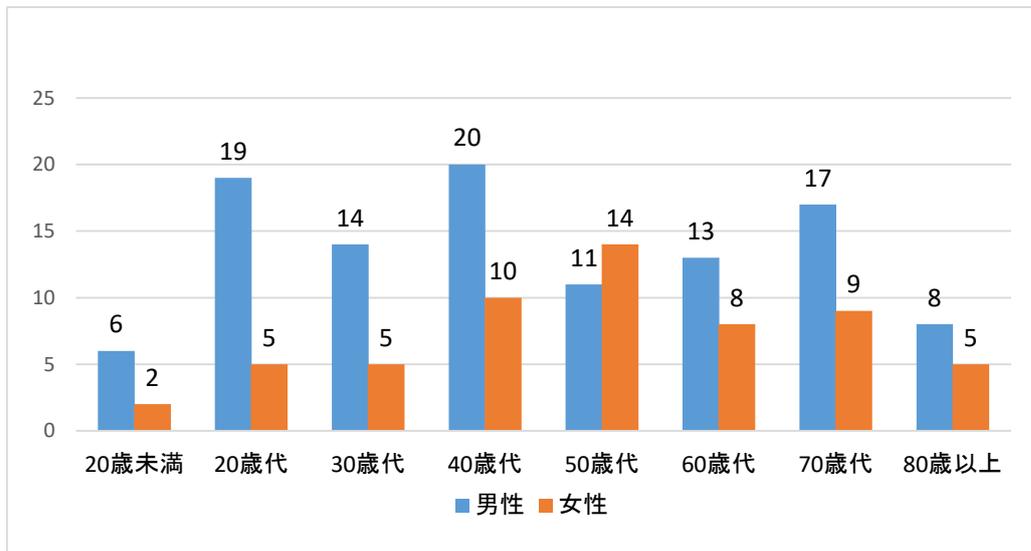


資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

平成27年から令和6年の本市における自殺者数の推移である。自殺死亡率は令和5年は19.05となっており、令和4年より5.05ポイント上昇している。性別では平成30年を除き、男性の自殺者が女性より多い傾向にある。

※令和6年の自殺死亡率は、5月までの実数に基づく年間推計値

【図2】坂戸市における性別・年代別自殺者数(H27-R6)



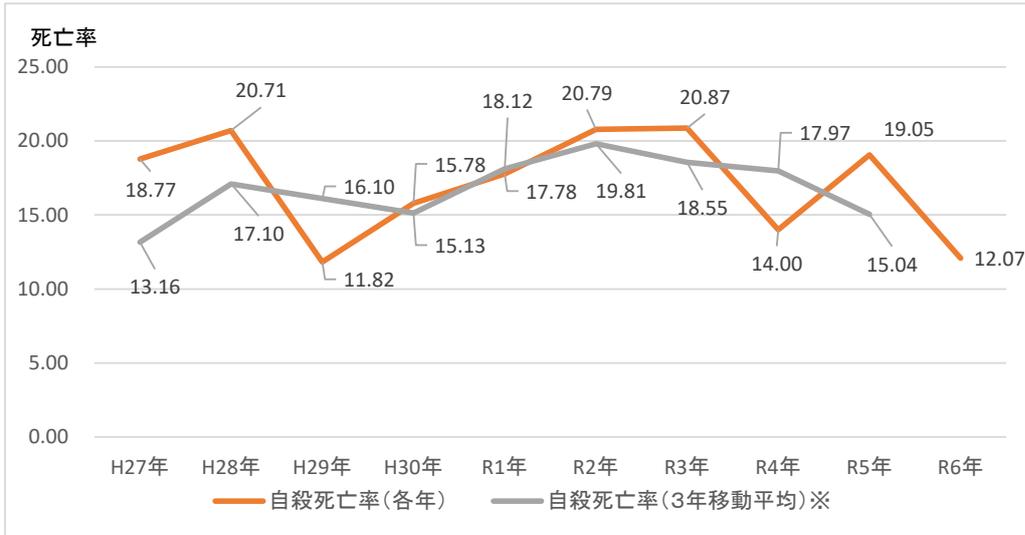
資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

平成27年から令和6年の本市における性別・年齢別の自殺者数である。男性の年齢別自殺者は、40歳代が最も多く、次いで20歳代、70歳代の順に多い。女性の年齢別自殺者は、50歳代が最も多く、次いで40歳代、70歳代の順に多い。

坂戸市の自殺者数等の状況

【資料1】

【図3】坂戸市における各年の自殺死亡率と3年移動平均の自殺死亡率の比較

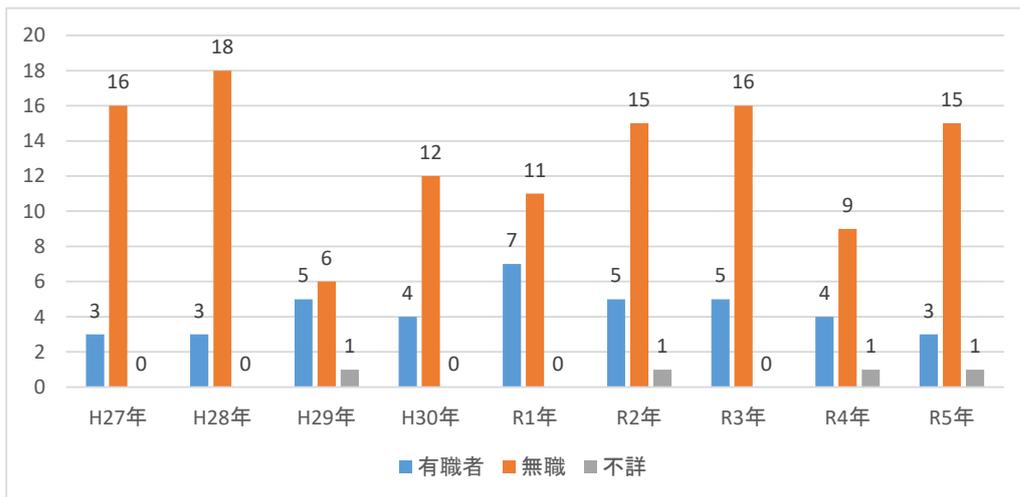


資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

平成27年から令和6年の自殺死亡率がオレンジ色の折れ線グラフであり、令和3年と比べ、令和4年は6.87ポイント減少、令和5年は1.82ポイント減少している。またグレーの折れ線が3年移動平均の自殺死亡率であり、令和5年の3年移動平均の自殺死亡率は、令和4年より2.93ポイント減少している。

※X年の自殺死亡率の移動平均値は、X-1年、X年、X+1年の自殺死亡率の平均値
 ※令和6年の自殺死亡率は、5月までの年間推計値

【図4】坂戸市における職業別自殺者数の推移



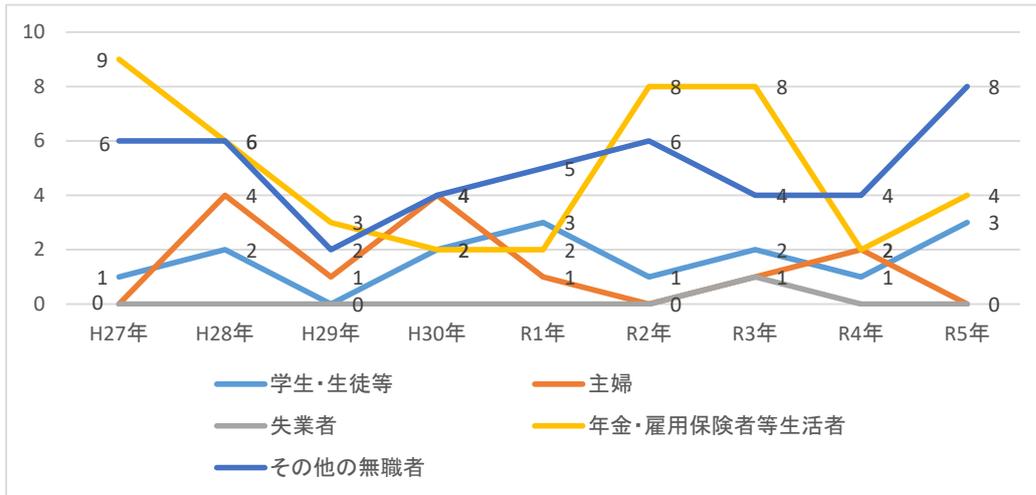
資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

平成27年から令和5年までの職業別自殺者数の推移である。どの年においても、無職の自殺者数が多い。

坂戸市の自殺者数等の状況

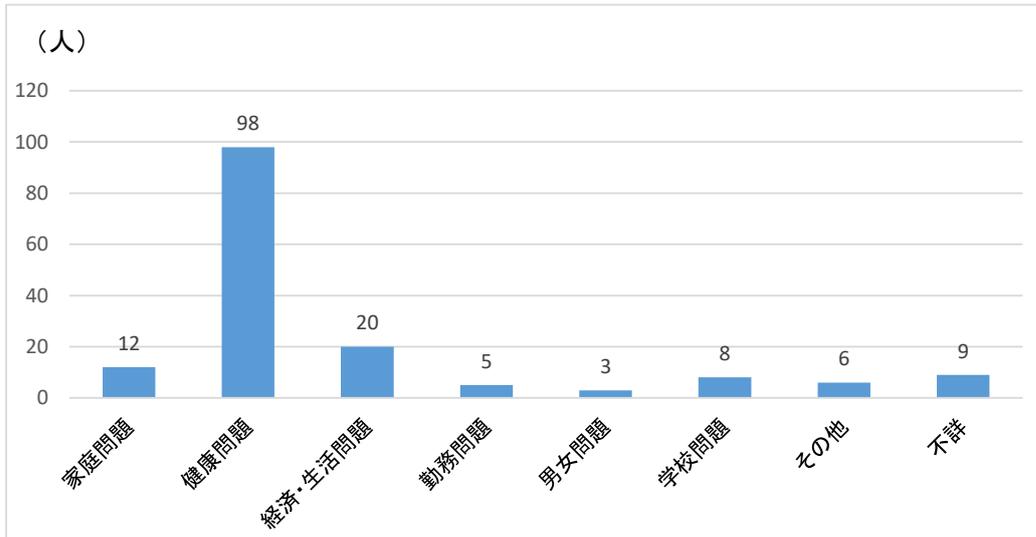
【資料1】

【図5】無職者の内訳



資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

【図6】坂戸市における原因・動機別自殺者数(H27-R5)



厚生労働省：地域における自殺の基礎資料

平成27年から令和5年の原因・動機別自殺者数としては健康問題が最も多く、次いで経済・生活問題、家庭問題となっている。

坂戸市の自殺者数等の状況

【資料1】

【表1】地域の主な自殺の特徴（特別集計（自殺日・住居地、2018年～2022年合計）

自殺者の特性上位5区分	自殺者数 (5年計)	割合	自殺死亡率* (人口10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位:男性60歳以上無職同居	10	11.10%	24.7	失業（退職）→生活苦+介護の悩み（疲れ） +身体疾患→自殺
2位:女性40～59歳無職同居	9	10.00%	29.4	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病 →自殺
3位:女性60歳以上無職同居	9	10.00%	14.7	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
4位:男性20～39歳無職同居	7	7.80%	79	①【30代その他無職】ひきこもり+家族間の 不和→孤立→自殺/ ②【20代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状 態→自殺
5位:男性20～39歳無職独居	5	5.60%	111	①【30代その他無職】失業→生活苦→多重債 務→うつ状態→自殺/②【20代学生】学内の 人間関係→休学→うつ状態→自殺

出典：自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロフィール」(2023)